特別史跡　名護屋城跡並陣跡

種別	国指定特別史跡
所在地	唐津市鎮西町名護屋・呼子町殿ノ浦 東松浦郡玄海町　Google Mapで表示
指定年月日	史跡指定：大正15年（1926）11月4日 特別史跡指定：昭和30年（1955）8月22日

（画像提供：佐賀県立名護屋城博物館）

概要

名護屋城跡並陣跡は、1590年代の豊臣秀吉による朝鮮出兵（文禄・慶長の役/壬辰・丁酉倭乱）における国内の出兵拠点として天正19年（1591）に築かれた城と周辺の陣跡23ヵ所（唐津市21ヵ所、玄海町2ヵ所）で構成されています。

文禄元年（1592）の開戦から秀吉の死により、諸大名が撤退する慶長3年（1898）までの7年間、大陸侵攻の拠点となりました。周囲には130以上に上る諸大名の陣屋が築かれ、全国から20万人を超える人々が集ったとされ、名護屋一帯は京都や大阪に次ぐ巨大都市となっていました。

名護屋城は標高約87mの垣添(副)山一帯に築かれ、東西約600m、南北約350mに広がり、面積は約17ヘクタールにおよびます。築城は九州の諸大名を中心とした多くの大名の普請により、1年に満たないごく短い間にほぼ完成したと考えられ、大坂城に次ぐ規模を誇りました。丘陵頂部に築かれた本丸は城内でも特に眺望がよく、空気が澄んだよく晴れた日には遠く対馬まで見渡すことができます。

現在、名護屋城跡の周辺には150ヵ所以上の諸大名の陣跡が確認されており、名護屋城跡とこれらの陣跡は唐津市鎮西町・呼子町、東松浦郡玄海町にまたがり広範囲に分布しています。

江戸時代の初めには取り壊された名護屋城ですが、現在も佐賀県立名護屋城博物館による発掘調査が行われており、調査の結果様々なことが明らかになっています。発掘調査はまだまだ継続して行われますので、今後の調査にも大いに期待されます。

名護屋城跡（大手口）

名護屋城跡並陣跡　空撮写真

名護屋城跡並陣跡一覧

番号	名称	指定年月日 追加指定年月日	指定理由（概要）
0	名護屋城跡	大正15年11月4日（史蹟） 昭和30年8月22日（特別史跡） 平成元年8月14日（追加指定）	調査ノ終ワレルモノノ中其ノ主要ナルモノ二係ル（大正15年） 遺構の存度良好なものも多く、城郭建築上学術的な価値は極めて高い（昭和30年）
1	前田利家陣跡	大正15年11月4日（史蹟） 昭和30年8月22日（特別史跡）	
2	徳川家康陣跡	大正15年11月4日（史蹟） 昭和30年8月22日（特別史跡）	
3	小西行長陣跡	大正15年11月4日（史蹟） 昭和30年8月22日（特別史跡）	
4	堀秀治陣跡	大正15年11月4日（史蹟） 昭和30年8月22日（特別史跡）	
5	豊臣秀保陣跡	大正15年11月4日（史蹟） 昭和30年8月22日（特別史跡）	
6	加藤清正陣跡	大正15年11月4日（史蹟） 昭和30年8月22日（特別史跡）	
7	福島正則陣跡	大正15年11月4日（史蹟） 昭和30年8月22日（特別史跡）	
8	九鬼嘉隆陣跡	大正15年11月4日（史蹟） 昭和30年8月22日（特別史跡）	
9	上杉景勝陣跡	大正15年11月4日（史蹟） 昭和30年8月22日（特別史跡）	
10	島津義弘陣跡	大正15年11月4日（史蹟） 昭和30年8月22日（特別史跡）	
11	黒田長政陣跡	昭和45年6月26日（追加指定） 平成8年3月28日（追加指定）	良好な状態で残存する陣跡
12	毛利秀頼陣跡	昭和62年12月25日（追加指定）	良好な状態で残存する陣跡
13	木下利房陣跡（玄海町）	昭和62年12月25日（追加指定）	
14	加藤嘉明陣跡	昭和62年12月25日（追加指定）	
15	長谷川秀一陣跡（玄海町）	昭和62年12月25日（追加指定）	
16	古田織部陣跡	平成元年8月14日（追加指定）	保存度良好なもの
17	鍋島直茂陣跡	平成元年8月14日（追加指定）	
18	徳川家康別陣跡	平成2年7月13日（追加指定） 平成8年3月28日（追加指定） 平成12年9月6日（追加指定）	保存度良好なもの
19	片桐且元陣跡	平成2年7月13日（追加指定）	
20	木下延俊陣跡	平成4年4月21日（追加指定）	保存度良好なもの
21	生駒親正陣跡	平成4年4月21日（追加指定）	
22	木村重隆陣跡	平成6年3月23日（追加指定）	保存度良好なもの
23	伊達政宗陣跡	平成6年3月23日（追加指定）	

関連リンク

- 佐賀県立名護屋城博物館（外部サイトリンク）

問い合わせ
生涯学習文化財課
〒847-0013　佐賀県唐津市南城内1番1号
大手口センタービル6階
電話番号：0955-72-9171